



風水害に

備えて



毎年、日本各地で台風や大雨による災害が発生し、尊い命が失われています。市内でも、豪雨による災害が発生しています。過去の災害からの教訓を踏まえ、土砂災害などの風水害に備えましょう。

平成21年8月10日の台風9号による大雨で冠水した国道121号平ヶ崎アンダーの状況



平常時の平ヶ崎アンダー



大雨で冠水した平ヶ崎アンダー



1.5m以上の冠水を記録

市内には、国道や県道、市道が鉄道や有料道路などアンダー形式で立体交差する

雨の日に注意が必要な「アンダーパス」

短時間に大量の雨が降ったり、長雨が続いたりすると、周りから水が流れ込んで道路が水没する「冠水」が発生することがあります。次のことに注意し、安全な運転に努めてください。

アンダーパスの冠水にご注意ください

冠水に気付いて停車した

冠水に対する注意点

場所のうち、冠水に注意の必要な場所が15カ所あります(アンダーパスの位置図などについては、市ホームページを参照)。雨の日にアンダーパスを車で通る場合は、道路の状況に十分注意し、徐行を心掛けて通行してください。

緊急時の通報などにご協力ください

場合は、追突されないようにハザードランプを点灯してください。車が水没すると、水圧でドアが開かなくなり、窓からも脱出できない場合は、首の辺りまで浸水し、水圧が弱まるのを冷静に待って、大きく息を吸いドアを開けて脱出してください。

国道・県道についてくわしくは

日光警察署管内
県日光土木事務所
保全部 保全第一課
☎(53)1213

今市警察署管内
県日光土木事務所
保全部 保全第二課
☎(53)1221

市道についてくわしくは

今市警察署管内
維持管理課 維持係
☎(21)5160
日光警察署管内
産業建設課
☎(54)1114



署などで情報を共有し、降雨時には重点的にパトロールを実施しています。しかし、緊急の場合には通報などのご協力をお願いします。

図1：情報の入手方法

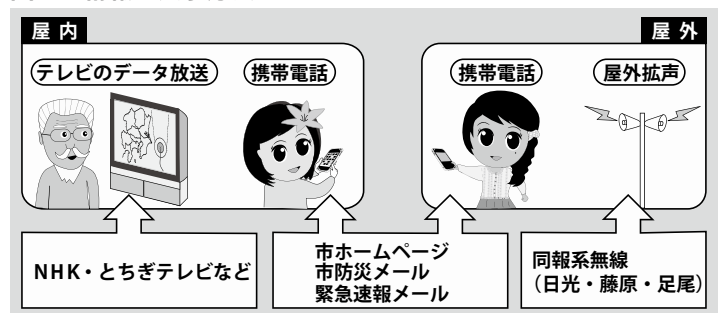


図2：土砂災害の前兆現象



内の連絡網などの確認をしておきましょう。

雨が降り始めたら

周囲の様子に注意し、気象警報などを確認しながら情報の入手に努めましょう(※図1)。

土砂災害の前兆現象(※図2)を確認したら

市役所や消防署に状況を連絡し、自治会長や地域住民など周囲の人たちに注意を促しましょう。

自主的な避難行動を

土砂災害警戒区域では地域で呼び掛け合い、区域外に緊急避難しましょう。その他の地域では周囲の状況を確認し、避難に関する支援が必要な方の避難に協力しましょう。

一時避難場所では

地域の公民館などの避難場所では、地域内の安否確認と情報収集に努めましょう。

災害をやり過ごすために

避難は、周囲の状況を確認し、早め早めの行動が大切です。しかし、夜間の豪雨による道路の冠水や、土砂崩れなどの発生時に無理に避難所まで移動すると、二次災害の恐れがあり、危険な場合もあります。そのような場合は、区域外の知り合いの住宅などに一時的に避難するなど、地域の協力により災害をやり過ごすことも重要です。

普段から防災について家族や地域で話し合い、協力できる体制を築いておきましょう。

市の防災メール配信サービスをご利用ください

市は、市内における気象や地震などの情報を、市民の皆さんへ伝える手段として、メール配信サービスを行っています(通信料などは登録者負担です)。配信内容は、次のとおりです。

気象情報
地震情報(震度3以上)
災害関連情報(避難情報など)

※携帯電話

をお使い

の方は、

下のQR

コードから登録できます。

※詳しくは、市ホームページをご覧ください。なお、災害時には市ホームページにも情報を掲載します。



QRコード

土砂災害についてくわしくは

総務課 危機管理放射能対策室
☎(21)5166